

授業科目	*成人急性期看護方法論				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	高橋 甲枝										
授業概要	<p>急性期病院にて看護師経験を有し、消化器外科、整形外科、呼吸器外科、心臓外科等における臨地実習の指導経験をもとに講義を行います。</p> <p>急性期看護の特徴と急性期に必要な理論を理解し、急性期にある対象の特徴、疾病や治療、周手術期看護について解説します。急性期にある対象とその家族に対してアセスメントに必要な看護の視点を明確にし、生命の危機的状況や日常生活と異なる状況下での看護を解説します。また、患者・家族の身体・心理・社会的健康問題を取り上げ、急性期医療に関わる医療チームの役割と連携について解説します。</p>										
授業形態	講義、演習		授業方法	グループワーク、発表 Classroomを活用して自己学習支援							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>急性期看護の概念とその特徴・課題を明確にし、急性期看護に必要な理論について説明できる(DP1-2)</li> <li>急性期にある患者・家族の特徴を理解し、対象に応じた基本的な看護のあり方を説明できる(DP1-2)</li> <li>急性期の看護として、とくに外科治療に伴う周手術期看護および危機的状況に陥った患者の看護について説明できる(DP1-2. DP2-1)</li> <li>術前から術後に至る過程で起こる健康上の問題をアセスメントすることができる(DP2-1)</li> <li>急性期看護における医療チームメンバーの役割・連携と看護の専門性について説明できる(DP3-2)</li> </ol>										
理想的レベル	標準的なレベルに加え、患者および家族を総合的にアセスメントし、看護介入について考えることができる										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験	80%										
小テスト											
レポート	20%										
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21318J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
復習：該当部分の復習 予習：次回の講義内容を確認し、テキストをチェック 課題：講義中に課題を提示する。計画的に課題を行う										4	
授業計画											

第1回	急性期看護概論（高橋） ・急性期看護の特徴と課題 ・急性期の主要症状とメカニズム ・急性期看護に必要な理論
第2回	周手術期看護の概論（高橋） ・術前・術中・術後の看護の目標 ・手術を受ける患者・家族の特徴 ・術前患者の看護
第3回	周手術期看護の概論（高橋） （術中・術後患者の看護） ・手術室における看護の展開 ・手術後の回復を促進するための看護 ・ドレーン管理
第4回	乳房切除術を受ける患者の看護（高橋） ・乳房切除術を受ける患者・家族の心理 ・乳房切除術を受ける患者の看護 ・術後に起こりやすい障害と指導
第5回	肺切除術を受ける患者の看護①（高橋） ・肺の手術を受ける患者の看護 ・胸腔ドレージの看護
第6回	肺切除術を受ける患者の看護②（高橋） ・肺の手術後の合併症とその看護 ・退院支援
第7回	脳神経機能障害のある患者の看護（高橋） ・脳・神経疾患の主な症状と観察 ・脳・神経疾患の検査を受ける患者の看護 ・脳室（脳槽）ドレナージ施行中の看護
第8回	クモ膜下出血患者で開頭術を受ける患者の看護（高橋） ・術前のアセスメントと看護 ・術後合併症のリスクアセスメント ・術後合併症予防と看護
第9回	消化・吸収障害のある患者の看護（財津） ・消化器の検査を受ける患者の看護 ・腹腔鏡下手術での看護
第10回	胃切除術を受ける患者の看護（財津） ・胃切除術（胃癌）における合併症とその看護 ・胃切除術を受ける患者の周手術期-回復期の看護
第11回	排泄機能障害のある患者の看護（財津） ・直腸の手術（人工肛門造設術）を受ける患者の周手術期の看護

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工肛門造設術後の合併症への援助と回復期の看護</li> <li>・前立腺の手術を受ける患者の看護</li> </ul>
第12回	<p>肝機能障害のある患者の看護（財津）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝がんの診断・治療と観察の視点</li> <li>・肝臓の手術を受ける患者の周手術期の看護</li> </ul>
第13回	<p>循環器に障害のある患者の看護について（財津）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経皮的冠動脈インターベンションを受ける患者の看護</li> <li>・虚血性心疾患患者のリハビリテーション看護</li> </ul>
第14回	<p>循環器・呼吸器に障害のある患者の看護（財津）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心拍動下冠動脈バイパス術を受ける患者の看護</li> </ul>
第15回	<p>人工呼吸器装着・ABP 装着中の患者のケアとその管理（財津）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体への影響とケア</li> <li>・人工呼吸器・IABP 装着中のケア</li> </ul>
テキスト	<p>系看別巻1 臨床外科看護総論（医学書院）          系統看護学講座専門2.3.5.7.9（医学書院）</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>系看別巻2 臨床外科看護各論 医学書院          野崎真奈美（監）：成人看護学 成人看護技術 改訂第3版 南江堂</p>
課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポートについては、全体の傾向について、講義内およびGoogle Classroomにて解説をします。</li> <li>・成績発表後に、評価点分布図を掲示します。</li> </ul>
学生へのメッセージ・コメント	<p>看護形態機能学、疾病学総論・各論との関連性を十分に考慮し、学習に臨む必要があります。</p> <p>この授業では、系統的に疾病・治療に伴う急性期看護を探究します。1. 2年生で履修した形態機能学、疾病総論・各論、成人看護学概論の復習を必ず行うとともに、各回のテーマについては、シラバスを参照し、事前にテキストをチェックするなど、予習をして臨むことを期待します。</p> <p>急性期方法論の範囲は、とても広いので日々の復習を確実にしていくことが大切です。</p>